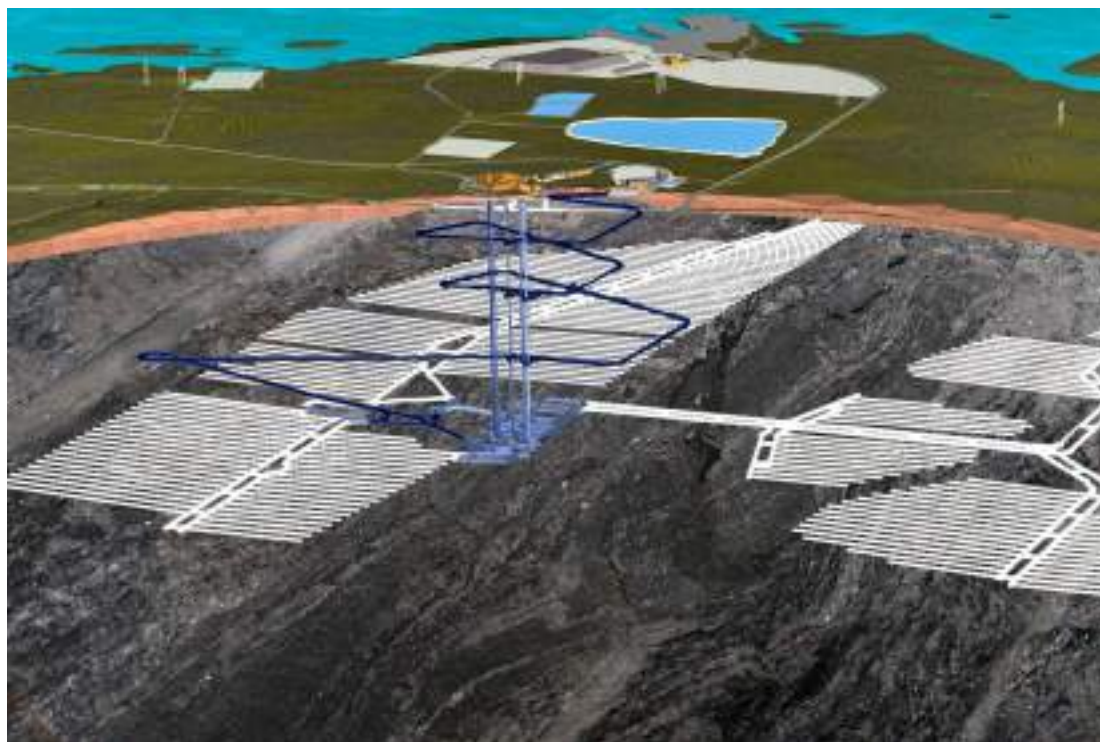


高レベル放射性廃棄物 最終処分施設「オンカロ」 @フィンランド視察報告

視察日：2014年3月24日



氷河の影響で岩がむき出しに(国道の横)



オルキルオト原子力発電所へ



突端にオルキルオト原発(手前が「オンカロ」)



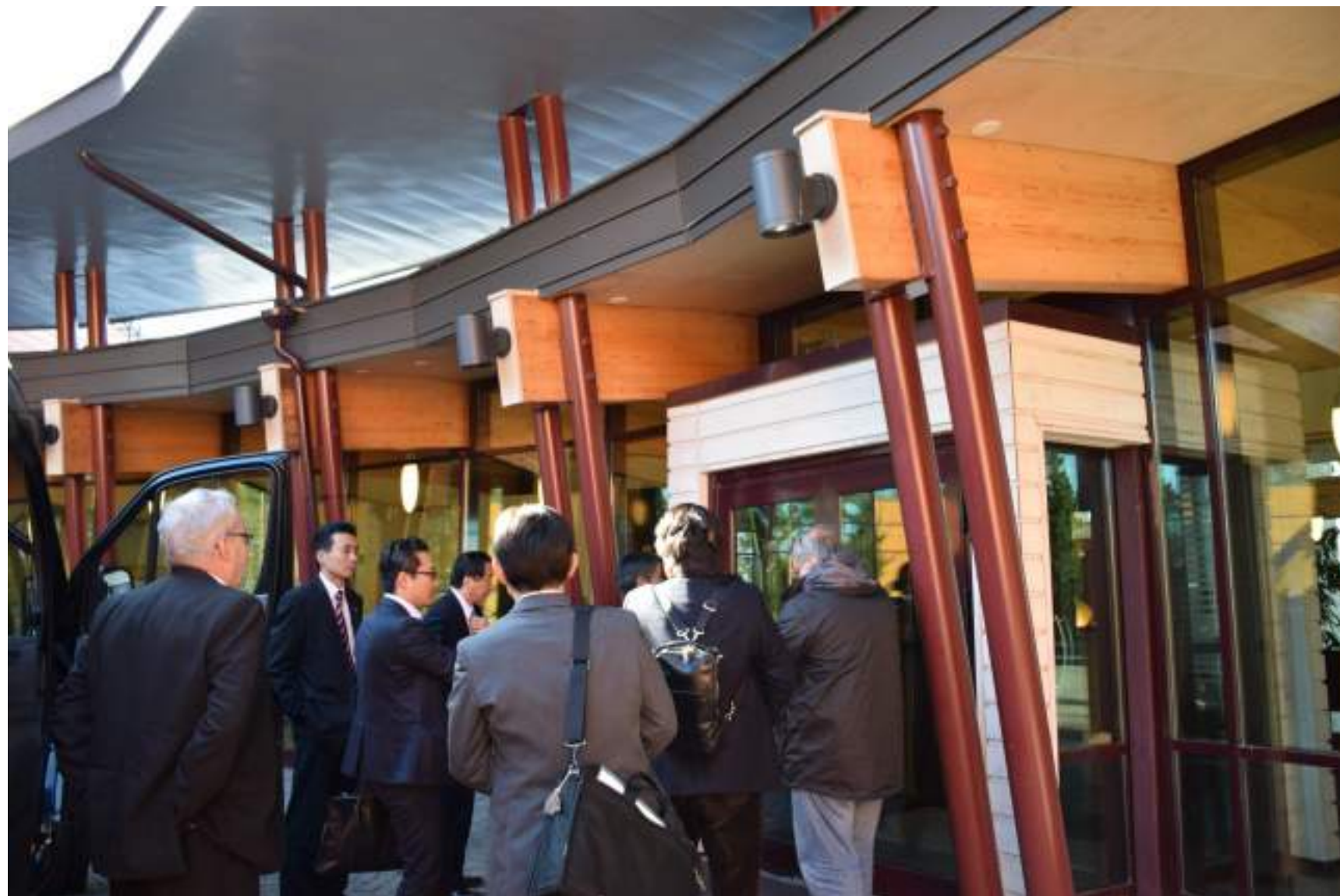
オルキルト原発を上空から撮影



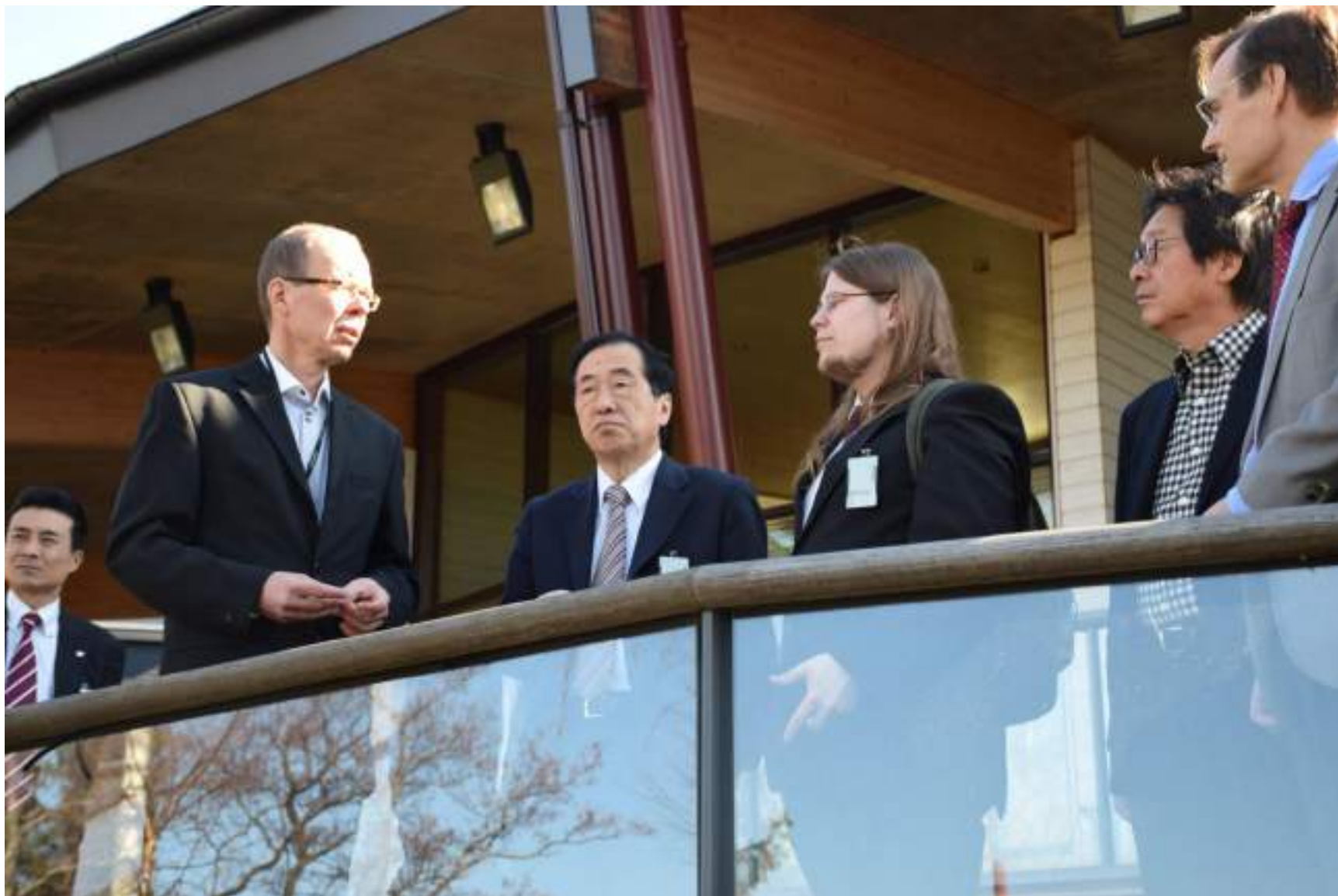
「オンカロ」を上空から撮影



ビジターセンター



広報担当から説明を受ける



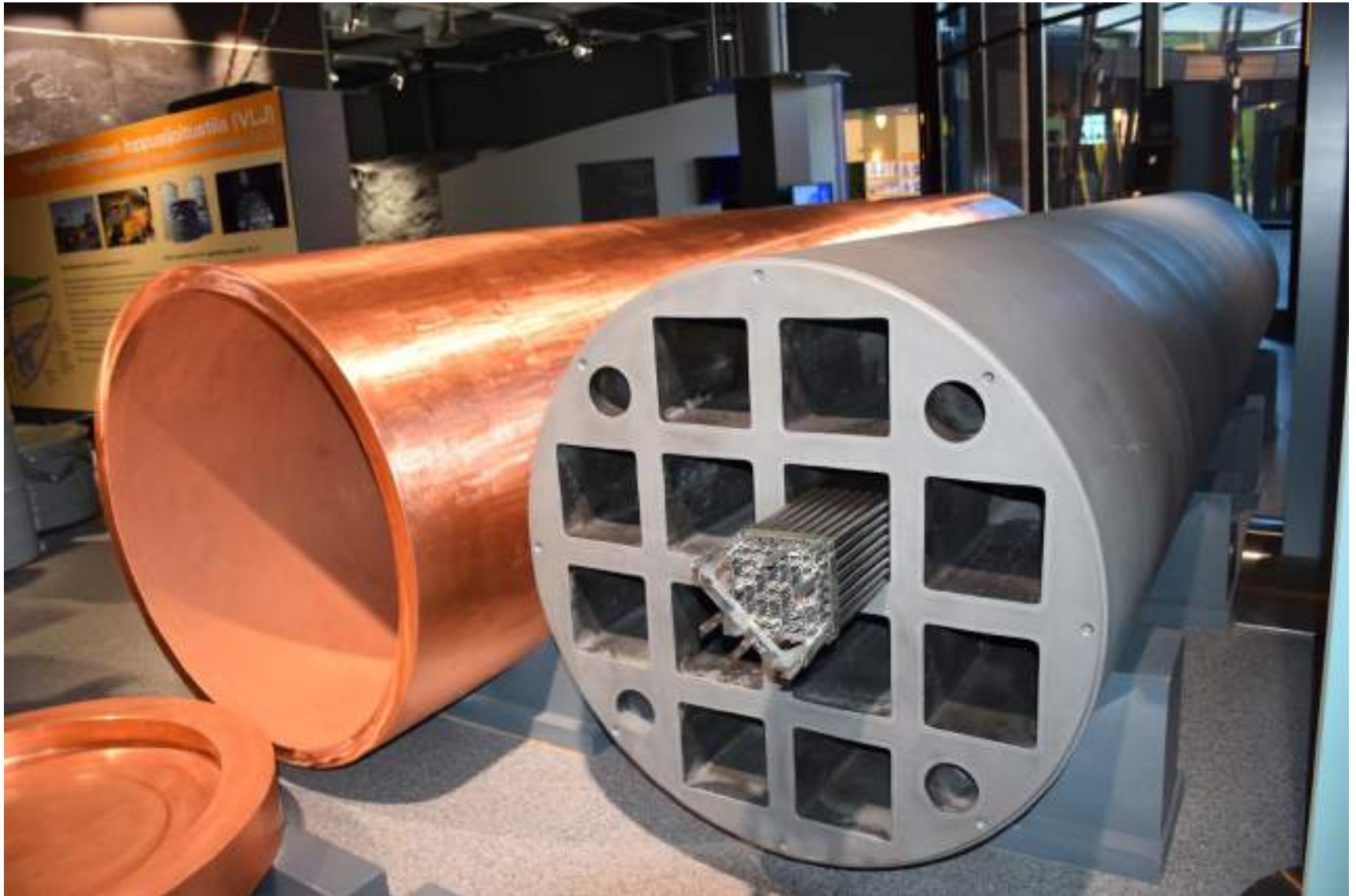
対岸に見えるオルキルト原発



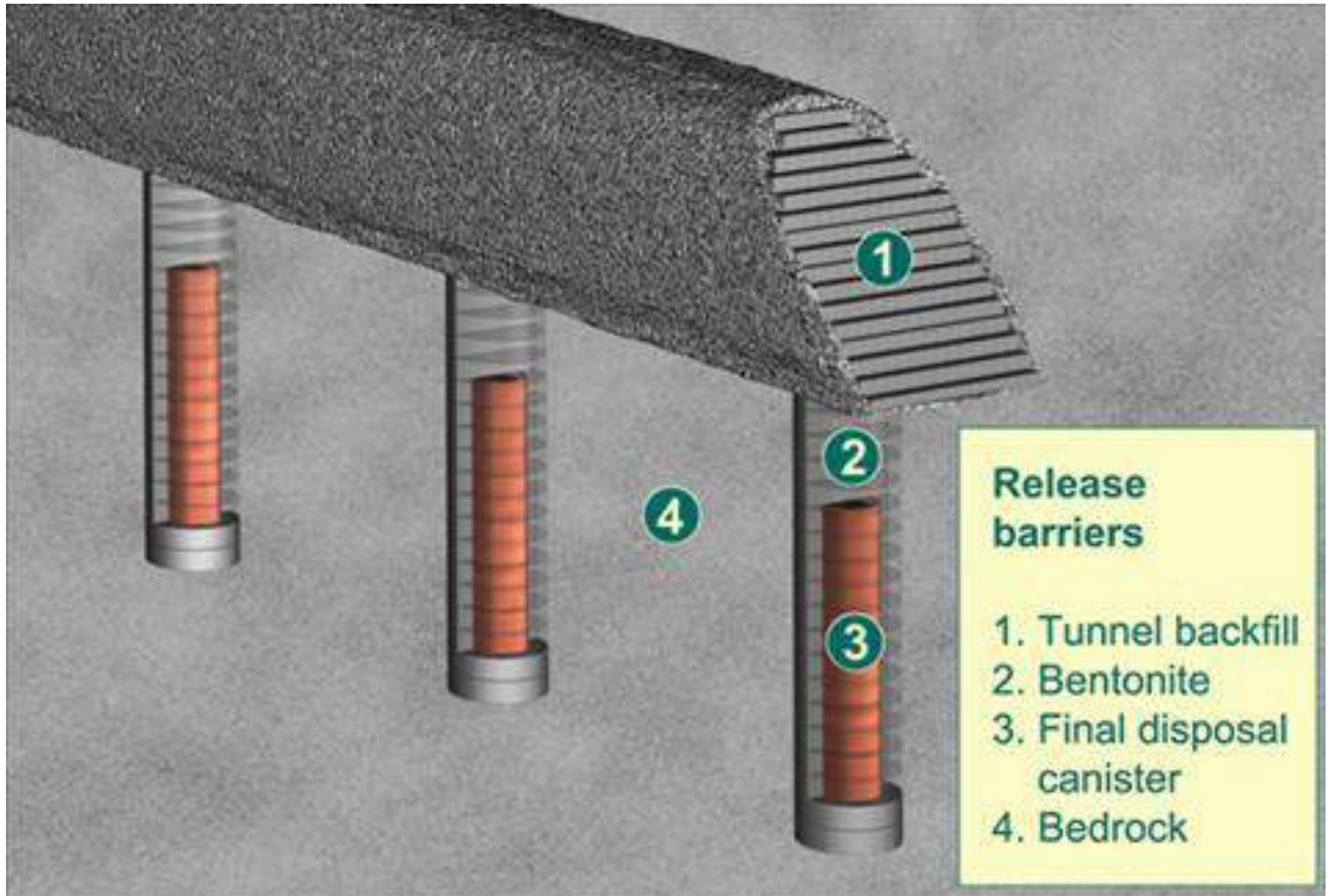
キャニスターの模型で説明を受ける



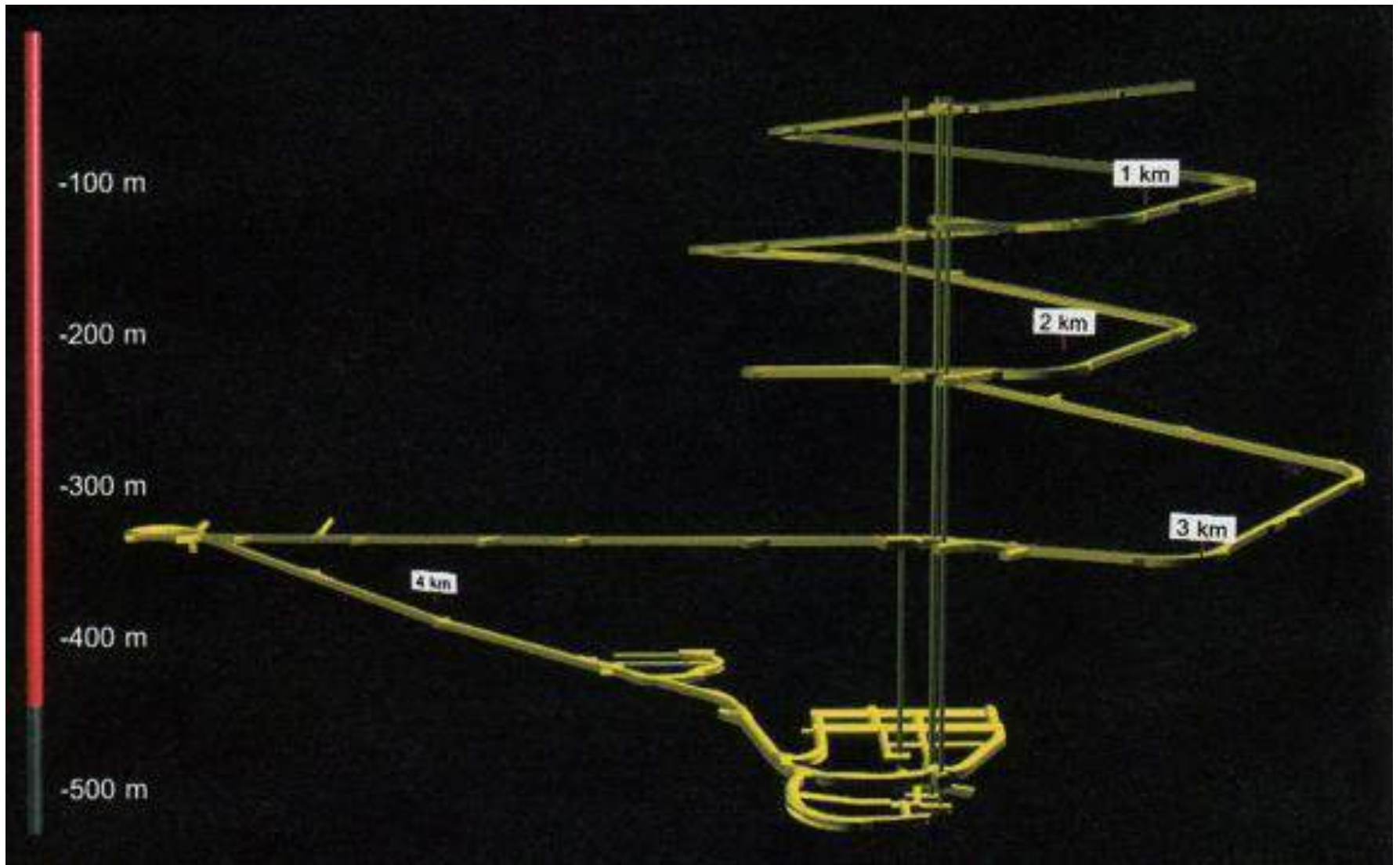
高レベル放射性核廃棄物の埋設用キャニスターモデル



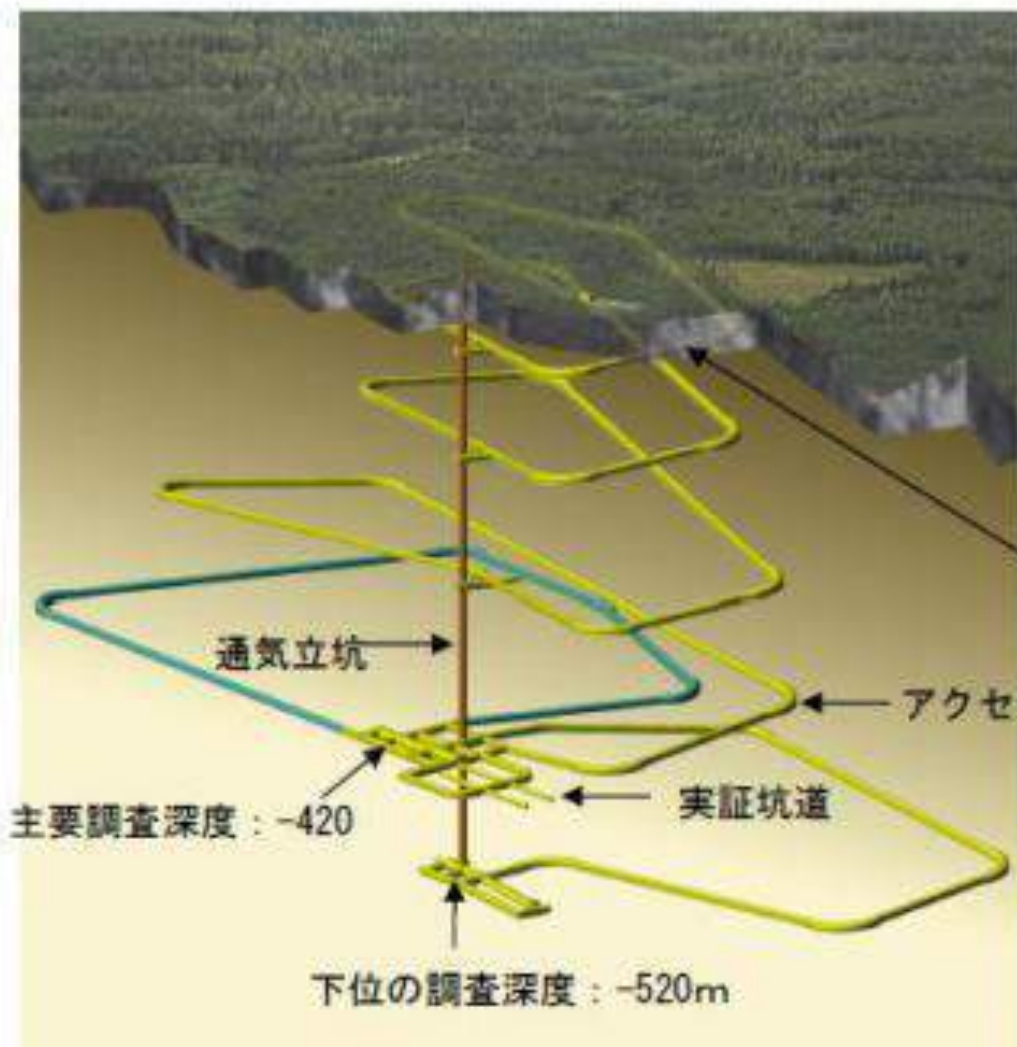
キャニスターをベントナイト粘土で封印



最大9000tの核ゴミを地下420m以下に収容



オンカロのイメージ図(2005年⇒2020年に稼働)

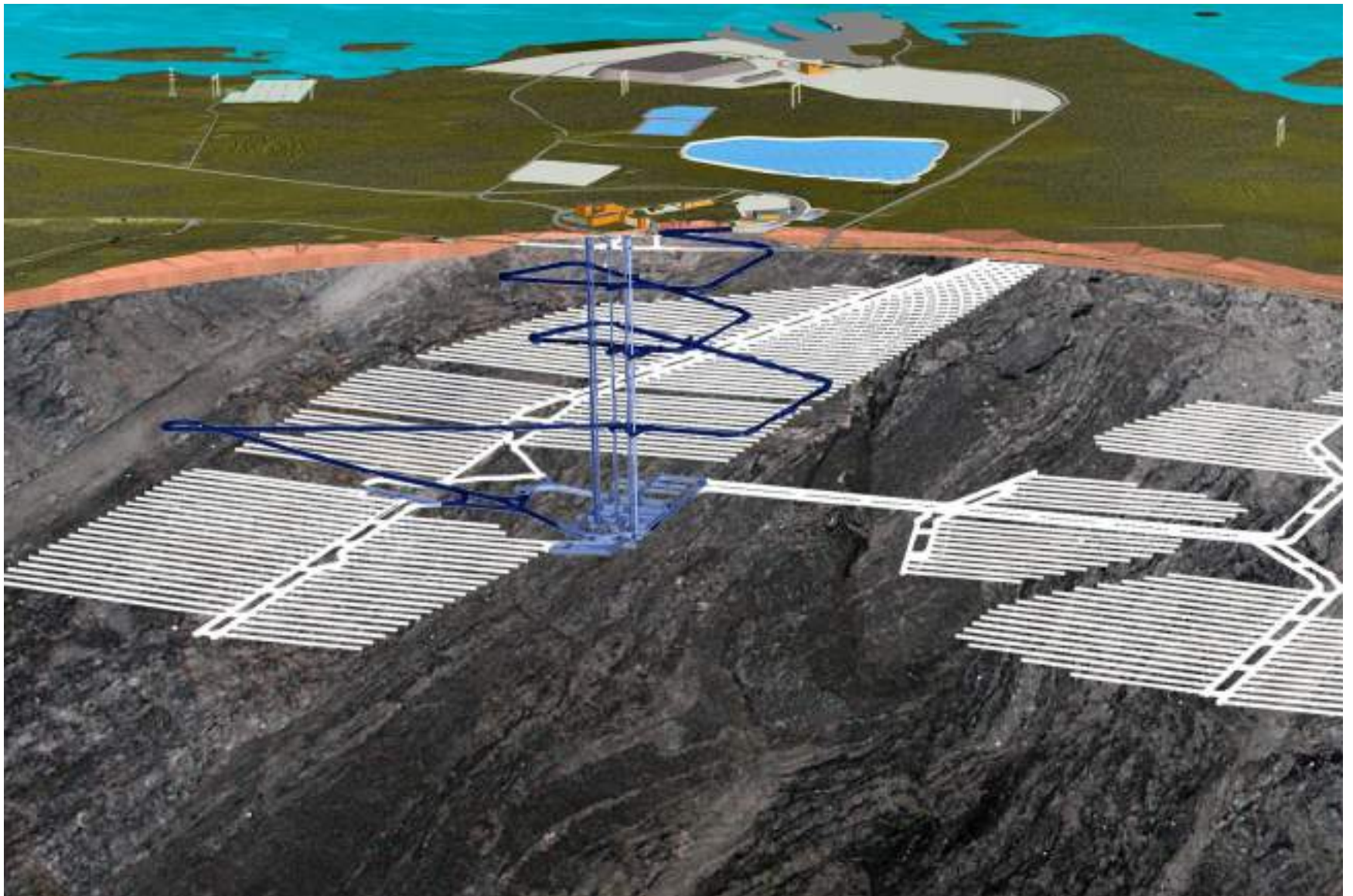


【仕様】

掘削土量：330,000 m³
アクセス坑道長：5.5 km
坑道の勾配：1:10
内空寸法：5.5 x 6.3 m
トンネル全長：8.3 km
立坑直径：6 m

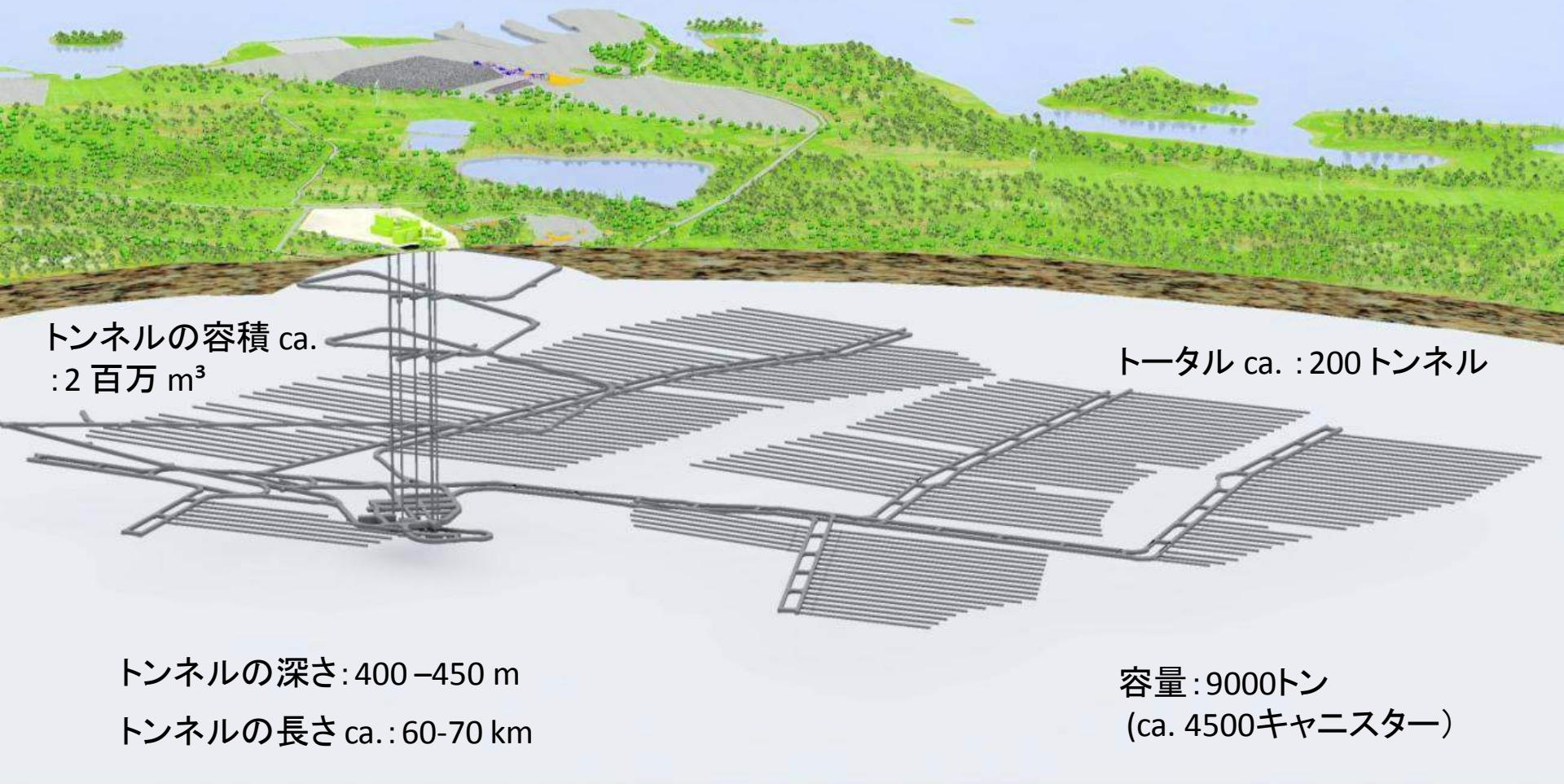
図-7 地下岩盤特性調査施設(ONKALO)のイメージ図(Posiva, 2003aを和訳)

「オンカロ」全体イメージ



最終処分施設「オンカロ」(完成イメージ図)

地上とのつながり: アクセストンネルと立坑、喚起シャフト



9人乗りの車で地下420mへ(坑道の入口)



移動用の坑道(坂道)を5キロ下る



坑道を(ドリルや発破で)掘り進める



実証用(視察用)トンネルを視察



キャニスター用の縦穴の前で



キャニスター埋設用の縦穴



縦穴の内部も公開



縦穴の内部



高レベル放射性の核廃棄物をふたで密閉する



岩盤に活断層がある場所も



岩盤に残る活断層の痕跡



通路から横に延びる横穴に埋設用の縦穴が



視察を終えて地上に生還



視察終了後に感想を共有

